

漁業協同組合と自主点検



今回から数回にわたりJFにおける自主点検（セルフ・アセスメント）の在り方について考えてみます。

自主点検とは自分たちで自分たちの組織のマネジメントを見直すという活動です。組織の部門間で相互に実施する点検（部門間相互検証）などをイメージしてください。また内部監査も、一種の自主点検と考えられます。内部監査をシンプルに定義すると、「組織体内部の者」が「経営者のために」実施する監査です。

私は自主点検や内部監査を自分の組織の現在の姿を自ら振り返る検証・評価活動であると考えます。自分の現状を客観的に認識してこそ、組織の課題を見つけ、その課題を解決するための対策を計画することが出来ます。JFの潜在能力を引

き出す可能性を秘めた自主点検や内部監査の概要について、これからご案内します。

JFグループに属する組織の自主点検の実施状況の明確なデータは残念ながら保有していません。しかし、内部監査に関してはJF全国監査機構の活動を通して実施状況を把握しています。ではJFグループにおける内部監査の現状を見てみましょう。

信用事業を営む信漁連では、金融庁の金融検査マニュアル等に従い、すでに内部監査を整備・運用しています。内部監査の内容と質は、監査機構の法定監査を通じて検証を受けており、相当なレベルを維持しています。また信用事業を実施しているJFも、各種ルールにより内部監査の整備・運用を求められ、信用事業を中心に充実に向け努力しています。これらに対し、信用



JF全国監査機構
監査委員長
おのみまさひさ
近江正幸

事業を実施していないJFで内部監査を導入している組合は、監査機構が実施する新一般監査を通じて検証している限りまればです。このようにJFグループ全体の数からみると、内部監査を導入している組織は、ほんの一握りです。

JFの組織規模は小さく、人材は限られ、内部監査の実施という敷居が高いことは事実です。しかし、自主点検といえば一挙に身近な存在になります。私は自主点検や内部監査を、大規模組織だけに有用な手法とは考えていません。規模は小さくても、身の丈に合った自主点検を実施できれば、JFの経営改善に役立つコスト以上の効果が期待できます。

JFの経営幹部の皆さま、一度、自主点検を試してみませんか。